

# ◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

---

九州技術事務所

令和5年 1月31日時点

## ◆工事区分別技術検索システムの紹介◆

新技術活用率の更なる向上および「九州の技術<sup>注1)</sup>」の活用促進を目的として、適用可能な新技術(NETIS)が容易に検索できるデータベースを作成しました。

データベースは、工事区分<sup>注2)</sup>毎に分類しており、該当する工事区分のシートを開くことで、新技術(NETIS)の一覧がご覧いただけます。

また、施工者の方は、「施工者選定型」で「有用な新技術」や「事後評価未実施技術」を活用されると、成績評価の加点対象となるため、データベースを有効にご活用下さい。

注1)九州の技術:九州に登録され、九州に本社を置く業者により開発された新技術(NETIS)。

注2)工事区分:土木工事標準積算基準書の工種区分とNETIS情報の分類を参考に、「河川系」「道路系」「共通」に区分しています。

●工事区分別技術検索システムに掲載されている技術は以下の通りです。

○過去3カ年に九地整管内の工事で活用された新技術(NETIS)

○九州の技術(九州の技術は活用の有無に関係なく掲載しています。)

※港湾空港工事の活用は除く

# ◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

## メインメニュー の基本操作

それぞれの項目をクリックすると、見合ったデータが表示されます。

- 工事区分内容確認：詳細な工事区分の内容が表示されます。
- 全技術 ：各工事区分に適用できる技術が表示されます。
- 九州の技術 ：各工事区分に適用できる九州の技術が表示されます。
- 有用な技術 ：各工事区分に適用できる有用な技術が表示されます。
- 九州の技術で有用な技術 ：各工事区分に適用できる九州の技術で有用な技術が表示されます。

### 九州の技術および九州地方整備局で活用された新技術 工事区分別技術検索システム (メインメニュー)

工事区分内容  
確認

クリック

■     をクリックすると、それぞれの条件にあてはまる技術一覧にリンクします。

○全技術：九州の技術および令和元年度、令和2年度、令和3年度に活用された新技術

○九州の技術：九州に登録され、九州に本社を置く業者により開発された新技術

※港湾空港工事の活用は除く

詳細な工事区分内容  
表示

工事区分	全技術	九州の技術	有用な技術	九州の技術で 有用な技術
■河川工事				
■河川構造物工事				
■河川維持工事				
■河川維持工事				

河川工事に適用可能  
な技術を表示

# ◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

## 工事区分について

それぞれの工事区分の詳細な内容については、「工事区分の内容」で確認して下さい。

目的の工種がどの工事区分に含まれるかを確認するため、メインメニューから【工事区分内容確認】をクリックすると、詳細な工事区分の内容が確認できます。

九州の技術および九州地方整備局で活用された新技術  
 工事区分別技術検索システム  
 (メインメニュー)

工事区分の内容 メインメニューに戻る

工事区分は土木工事標準積算基準書の工種区分とNETIS情報の分類を参考に、「河川系」「道路系」「共通」に区分しています。

河川工事	河川工事において、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、護岸工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする
河川構造物工事	河川における構造物及び道路における構造物において、次に掲げる工事 1.樋門(管)工、水(閘)門工、サイフォン工、床止(固)工、堰、揚排水機場、ロックシェッド(RC構造)、スノーシェッド(RC構造)、防音(吸音・遮音)壁工、コンクリート橋、簡易組立橋梁、仮橋・仮橋樑、PC橋(工場製作桁の場合)等の工事及びこれらの下部・基礎のみの工事 ただし、河川高潮対策区間における樋門(管)工、水(閘)門工については「海岸工事」とする 2.橋梁の下部工、床版工のみの工事及び橋梁(鋼橋は除く)の修繕、橋台・橋脚補強工事 3.ゴム伸縮継手(新設)、床版打替工、沓座拡幅工、落橋防止工(RC構造)、コンクリート橋の支承、高欄設置工(コンクリート、石材等)、旧橋撤去工(鋼橋コンクリート橋上下部)、トンネル内装工(新設トンネル) 4.1・2及び3に類する工事 ただし、門扉等の工場製作及び揚排水機場の上屋は除く
河川系 海岸工事	海岸工事において、次に掲げる工事 堤防工、突堤工、離岸堤工、消波根固工、海岸擁壁工、護岸工、樋門(管)工、河口浚渫、水(閘)門工、養浜工、堤防地盤処理工及びこれらに類する工事 河川高潮対策区間の河川工事において、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、樋門(管)工、水(閘)門工、光ケーブル配管工、護岸工等の補修及びこれらに類する工事
砂防・地すべり等工事	砂防、地すべり工事及び急傾斜地崩壊防止施設工事において、次に掲げる工事 堰堤工、流路工、山腹工、抑制工、抑止工、床固工、落石なだれ防止工、集水井工、集排水井ボーリング工、排水トンネル工及びこれらに類する工事
河川維持工事	河川維持工事(河川高潮対策区間の工事を含む)において、次に掲げる工事 1.堤防天端・法面等の補修工事 2.標識、境界杭、防護柵及び駒止め等の設置 3.道路における電気通信設備以外の当該設備工事 4.河川の伐開、除草、清掃、芝養生、水面清掃等の作業 5.1、2、3及び4に類する工事
コンクリートダム工事	コンクリートダム本体を主体とする工事

**クリック** 工事区分内容確認

条件によってはまる技術一覧にリンクします。

令和3年度に活用された新技術  
 により開発された新技術

九州の技術	有用な技術	九州の技術で有用な技術
✔	★	☆
✔	★	☆
✔	★	☆
✔	★	☆
✔	★	☆

# ◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

## 技術一覧について

それぞれの工事区分の項目(全技術 、九州の技術 、有用な技術 、九州の技術で有用な技術 )をクリックすると、条件に見合った技術一覧が表示されます。

## 九州の技術および九州地方整備局で活用された新技術 工事区分別技術検索システム (メインメニュー)

工事区分内容  
確認

河川工事に  
適用可能な技術が  
表示されます。

    をクリックすると、それ

- 全技術:九州の技術および令和元年度、令和
- 九州の技術:九州に登録され、九州に本社を
- ※港湾空港工事の活用は除く

工事区分	全技術
河川工事	
河川構造物工事	
海岸工事	
砂防・地すべり等工事	
河川維持工事	

クリック 

### 河川工事で活用できる新技術(214技術)一覧表

■掲載技術:令和元年度、令和2年度、令和3年度に九地整で活用された技術および九州の技術  
 ※九州の技術:九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術  
 ※仮設材(トイレ、コーン、看板等表示機材、投光機等照明、敷板等)は「仮設」を参照ください  
 ※通隔監視や計測管理システム、安全管理・健康管理・位置情報等の管理技術等は「その他」を参照ください  
 ※技術の詳細はインターネット検索から「NETIS」ホームページで検索キーワードに登録番号や技術名を入力して検索してください。

活用効果調査結果について  
 A~D:事後評価実施済み技術の活用効果評価結果  
 ★:九地整で活用された事後評価未実施技術  
 -:未活用の九州の技術

NETISホームページを開く 

メインメニューに戻る

登録番号	種別記号	活用年度	活用方式	技術名	副題	区分	分類Lv.1	分類Lv.2	九州の技術	有用な技術	活用効果調査結果
CB-170020	A	R1	施工者選定型	UAVレーザ測量システム「TOKI(トキ)	地上測量が困難な樹木に覆われた急傾斜地などで詳細設計に対応可能な地形図を取得するシステム	システム	調査試験	測量			★
CG-180001	A	R3	施工者選定型	超低騒音ブラケットアセンブリを用いた油圧プレーカ	本技術は制振・遮音を目的としたブラケットアセンブリにより、騒音の低減を実現した油圧プレーカ	製品	共通工	構造物とりこわし工			★
CG-180005	A	R1	施工者選定型	増圧(ブースタ)機構を搭載した油圧解体機	本技術は、解体機に増圧(ブースタ)機構を搭載することで、破砕作業の効率化によって工期短縮・燃料削減・CO2排出量削減を図るものである。	機械	共通工	構造物とりこわし工			★
HK-180006	A	R3	施工者選定型	デジタル式荷重計付クレーン	正確な吊り荷重の常時見える化を実現したデジタル式荷重計付クレーン(積載型トラッククレーン)	製品	共通工	その他			★
KK-180051	A	R3	施工者選定型	生分解性削岩機油(バイオハンマー)	植物油を原料とした、低毒性で、環境への影響が少ない生分解性削岩機油	材料	基礎工	場所打ち杭工			★
KK-180054	A	R3	施工者選定型	コンクリート打設管理装置	コンクリートの打込み高さ、打重ね時間の見える化	機械	コンクリート工	施工管理			★
KK-190004	A	R3	施工者選定型	遮水シート一体化型ブロックマット	河川堤防の表水面からの水の浸透を防止することができる遮水シートと一体化したコンクリートブロックマット	工法	河川海岸	多自然型護岸工			★

# ◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

## 技術一覧の見方

(■河川工事の全技術を選択した例)

河川工事に適用可能な新技術が表示されます。

### 河川工事で活用できる新技術(214技術)一覧表

メインメニューに戻ります。

- 掲載技術: 令和元年度、令和2年度、令和3年度に九地整で活用された技術および九州の技術
- ※九州の技術: 九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術
- ※仮設材(トイレ、コーン、看板等表示機材、投光機等照明、敷板等)は「仮設」を参照ください
- ※遠隔監視や計測管理システム、安全管理・健康管理・位置情報等の管理技術等は「その他」を参照ください

活用効果調査結果について

A~D: 事後評価実施済み技術の活用効果評価結果

★: 九地整で活用された事後評価未実施技術

-: 未活用の九州の技術

※技術の詳細はインターネット検索から「NETIS」ホームページで検索キーワードに登録番号や技術名を入力して検索してください。

メインメニューに戻る

NETISホームページを開く

登録番号	種別記号	活用年度	活用方式	技術名	副題	区分	分類 Lv.1	分類 Lv.2	九州の技術	有用な技術	活用効果調査結果
CB-170020		R1	施工者選定型	<a href="#">JAVレーザ測量システム「TOKI」(トキ)</a>	測量可能な地						★
				<a href="#">遮水シート一体化型ブロックマット</a>	河川堤防のシートと一体化						★
				<a href="#">重機接触防止 D-LINKセンサー</a>	接近センサーによる重機後方確認装置	製品	その他	その他	●		-
				<a href="#">濁水処理用ひも状ろ過材「モールコード」</a>	ひも状ろ過材を用いて現場打ち水路や側溝内等で土粒子を捕捉する技術	工法	仮設工	濁水処理工(一般土木工事)			B
HR-140020	VE	R2	施工者選定型	<a href="#">ツイスタ</a>	単純な形状で低コストと高い安定性を実現した消波根固めブロック	製品	河川海岸	消波根固めブロック			B
HR-140026	VE	R1 R2 R3	施工者選定型	<a href="#">バックホウ3Dマシンガイダンスシステム</a>	GNSS、またはトータルステーションを使用したバックホウ3Dマシンガイダンスシステム						B
KK-130043	VE	R1 R2 R3	施工者選定型 発注者指定型	<a href="#">ジョインボンド工法</a>	新旧コンクリート打継目接着工法						B
KT-120070	VE	R1 R2 R3	施工者選定型	<a href="#">燃費低減型エンジン・ポンプマッチング制御搭載油圧ショベル</a>	可能な限りの低エンジン回転で必要ポンプ吐出量制御する油圧ショベル						C
KT-120091	VF	R1 R2	施工者選定型	<a href="#">杭打設管理システム(パイルナド)</a>	杭打設工事において位置出ししたデータを車載モニターに表示	ソフトウェア	基礎工	その他			C

「A」を選択することで、「事後評価未実施技術」を抽出することができます。

技術の詳細情報を「NETIS」で確認できます。  
※パソコンの環境によっては「NETIS」トップページが表示される場合があります。検索キーワードに登録番号等を入力して検索してください。

事後評価実施済み技術の活用効果評価結果(A~D)が確認できます。  
★: 九地整で活用された事後評価未実施技術  
-: 未活用の九州の技術

# ◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

## 技術一覧の見方

( ■河川工事の有用な技術を選択した例)

河川工事に適用可能な新技術（有用な技術）が表示されます。

### 河川工事で活用できる新技術【有用な技術】(41技術)一覧表

■掲載技術：令和元年度、令和2年度、令和3年度に九地整で活用された技術および九州の技術

※九州の技術：九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術

※仮設材（トイレ、コーン、看板等表示機材、投光機等照明、敷板等）は「仮設」を参照ください

※遠隔監視や計測管理システム、安全管理・健康管理・位置情報等の管理技術等は「その他」を参照ください

活用効果調査結果について

A～D：事後評価実施済み技術の活用効果評価結果

★：九地整で活用された事後評価未実施技術

—：未活用の九州の技術

※技術の詳細はインターネット検索から「NETIS」ホームページで検索キーワードに登録番号や技術名を入力して検索してください。

NETISホームページを開く

メインメニューに戻る

登録番号	種別記号	活用年度	活用方式	技術名	副題	区分	分類 Lv.1	分類 Lv.2	九州の技術	有用な技術	活用効果調査結果
HR-140026	VE	R1 R2 R3	施工者選定型	<a href="#">バックホウ3Dマシンガイダンスシステム</a>	GNSS、またはトータルステーションを使用したバックホウ3Dマシンガイダンスシステム	システム	共通工	情報化施工		[活用促進]	B
HR-160004	VE	R3	施工者選定型	<a href="#">UAV(無人航空機)と三次元レーザスキャナによる空間計測システム</a>	UAVにより取得した写真データおよび三次元レーザスキャナにより取得した点群データを用いて、現況測量や出来形計測等の三次元図面を作成するシステム。	システム	調査試験	測量		[活用促進]	B
KK-120004	VE	R1 R2 R3	施工者選定型	<a href="#">CAD機能を搭載した土木測量支援現場端末システム (TREND-FIELD)</a>	TS(トータルステーション)と接続し、図面出来形管理が行える現場端末システム					[活用促進]	B
KK-130027	VE	R1 R3	施工者選定型	<a href="#">エンドレンマット リブ型</a>	透水フィルター付き板状排水材					[活用促進]	B
KK-140014	VE	R3	施工者選定型	<a href="#">地上型3Dレーザスキャナ計測機を用いた舗装等の現況計測技術</a>	舗装等の現況計測において、3次元レーザスキャナを使った計測作業に改善した技術	システム	舗装工	アスファルト舗装工		[活用促進]	B
KK-150058	VE	R1 R2 R3	施工者選定型 発注者指定型	<a href="#">3次元点群処理ソフト(TREND-POINT)を用いた施工土量計測システム</a>	3次元計測により生成された点群データのスムーズな解析処理により、施工前後および各施工段階での土量の差分を計算するシステム	システム	土工	施工管理		[活用促進]	B
KKK-170004	VE	R1 R2 R3	施工者選定型	<a href="#">アルウォーク</a>	アルミ製垂直傾斜面用足場ブラケット	製品	港湾・港湾海岸・空港	仮設工		[活用促進]	B

技術の位置付けが分かります。

- ・ 推奨技術
- ・ 活用促進技術・・・等

「有用な新技術」とは、事後評価実施済み技術のうち、特に優れた技術と認められた技術で、その評価内容から「推奨技術」「準推奨技術」「評価促進技術」「活用促進技術」に分類されます。

# ◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

## 工事区分の分類例

同一の新技术(NETIS)が、複数の工事区分に分類されています。

例えば、河川・道路何れのコンクリート構造物の補修工事に適用可能であるにも関わらず、NETIS情報において道路維持修繕工に分類されているために、河川分野での活用が少ない新技术等についても、複数の適用可能な工事区分に分類されているため、幅広い検索が可能です。

仮設材(トイレ、コーン、看板等表示機材、投光機等照明、敷板等)は「仮設」のシートにとりまとめています。

また、遠隔監視や計測管理等のシステム、安全管理・健康管理・位置情報等の管理技術等は「その他」にとりまとめています。

### ●分類例

NETIS情報の分類

分類1: 道路維持修繕工 - 橋梁補修補強工

CG-140001 ShieM-CS工法 Bタイプ  
バリアシートによるコンクリート中性化・塩害・  
はく落防止工法

河川構造物工事

道路構造物工事

道路維持工事

3つの工事区分に分類

NETIS情報の分類

分類1: 共通工-深層混合処理工

QS-190020 高トルク型中圧噴射機械攪拌工法  
(MITS工法CMS-Sシステム)  
小型機を用いた中圧噴射攪拌による変位低減型地盤  
改良工法

河川工事

道路構造物工事

河川構造物工事

道路改良工事

海岸工事

5つの工事区分に分類